

岸和田市貝塚市斎場整備運営事業

審 査 講 評

令和4年11月28日

岸和田市貝塚市斎場整備運営事業者選定委員会

岸和田市貝塚市斎場整備運営事業（以下「本事業」という。）に係る事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）は、本事業を実施する事業者を選定するため、岸和田市（以下「市」という。）が公告した公募型プロポーザルにおいて、岸和田市貝塚市斎場整備運営事業事業者選定基準に基づき審査を行い、最優秀提案者を選定しましたので審査結果及びその講評をここに報告します。

令和4年11月28日

岸和田市貝塚市斎場整備運営事業者選定委員会
委員長 槇村 久子

目 次

第 1 選定委員会の構成及び開催経過	1
(1) 選定委員会の構成	1
(2) 選定委員会の開催経過	1
第 2 審査の方法	2
(1) 審査の流れ	2
(2) 審査の内容	3
(3) 最優秀提案者の選定	4
(4) 参加者が 1 者の場合の取り扱い	4
第 3 審査の結果	5
(1) 資格審査	5
(2) 提案審査	5
(3) 最優秀提案者の選定結果	7
第 4 審査の講評	8
(1) 各審査項目の審査講評	8
(2) 総評	11
【参考資料】 諮問書写し	13

第 1 選定委員会の構成及び開催経過

(1) 選定委員会の構成

区分	氏名	所属等
委員長	槇村 久子	京都女子大学宗教・文化研究所 農学博士
副委員長	谷口 英樹	岸和田市市民環境部長
委員	小池 吉裕	貝塚市総務市民部長
委員	武田 史朗	千葉大学大学院園芸学研究院 ランドスケープ・経済学講座 教授
委員	福 村 勲	岸和田市貝塚市清掃施設組合事務局長
委員	三好 庸隆	武庫川女子大学生活環境学部長

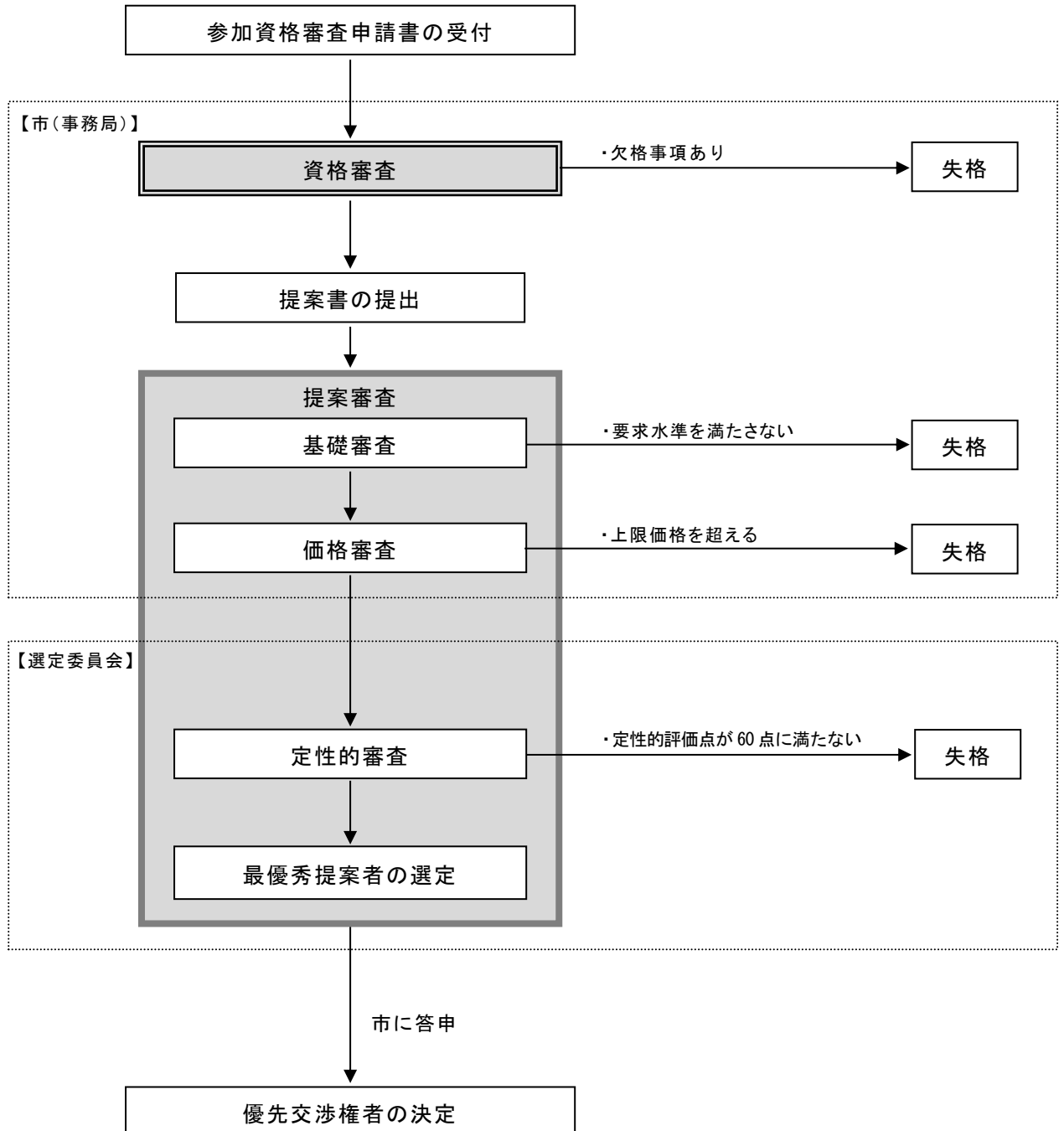
(2) 選定委員会の開催経過

選定委員会	日	内容
第 1 回	令和 4 年 5 月 9 日	岸和田市貝塚市斎場整備運営事業者の選定について 諮問を受ける (1) 委員長及び副委員長の選出 (2) 技術提案事項について (3) 評価方法について ①事業概要について ②スケジュールについて ③事業者選定基準（案）について
第 2 回	令和 4 年 6 月 6 日	(1) 斎場予定地見学 (2) 第 1 回選定委員会ご意見とその対応について (3) 事業者選定基準について (4) 審査方法について (5) 募集要項及び要求水準書について
第 3 回	令和 4 年 11 月 28 日	(1) 事業者プレゼンテーション及びヒアリング (2) 定性的評価点の算出 (3) 最優秀提案者の選定 (4) 審査講評案、答申案について
答申	令和 4 年 11 月 28 日	岸和田市貝塚市斎場整備運営事業者の選定について

第2 審査の方法

(1) 審査の流れ

審査の手順は、以下のとおりである。



（２）審査の内容

審査の方法は、「資格審査」と「提案審査」による２段階で実施する。

１）資格審査

募集要項において示す応募者の備えるべき参加資格要件の適否について、市が審査を行う。なお、審査の結果、参加資格要件を満たしていない場合は失格とする。

２）提案審査

ア 基礎審査

提案書の内容について、市が審査を行う。要求水準書に示す水準を明らかに達成していない場合は失格とする。

イ 価格審査

提案価格が上限価格を超えていないことを市が確認する。提案価格が上限価格を超える場合（上限価格の内訳の施設整備費又は維持管理運営費が、次の金額を超える場合を含む）は失格とする。上限価格は次のとおりである。

上限価格 (消費税及び地方消費税を含まず)	4,672,550,000 円
うち、施設整備費	2,988,691,000 円
うち、維持管理運営費	1,683,859,000 円

ウ 定性的審査

提案書の内容について、審査項目、評価の視点と配点に基づき、選定委員会が審査を行う。

定性的審査基準は、定性的審査基準に示す５段階によるものとし、各選定委員が個別に評価を行う。

定性的評価点については、各選定委員の評価点の平均値を得点として採用する。平均値は小数点第３位以下を四捨五入し、小数点第２位まで算出するものとする。

定性的評価点が６０点に満たない場合は失格とする。

なお、提案内容の確認のため、基礎審査及び価格審査を通過した応募者を対象にしてプレゼンテーション及びヒアリングを実施する。

【定性的審査基準】

評価区分	評価基準	採点
A	提案内容が優れている	配点×1.0
B	提案内容がやや優れている	配点×0.8
C	提案内容が標準的	配点×0.6
D	提案内容がやや劣っている	配点×0.4
E	提案内容が劣っている	配点×0.2

(3) 最優秀提案者の選定

定性的評価点を算出し、順位付けを行い、定性的評価点が最も高い提案者を最優秀提案者として選定する。

定性的評価点の最も高い提案者が2者以上ある場合は、提案価格の金額が最も安価な提案者を最優秀提案者として選定する。提案価格が同額の場合は、表【審査項目、評価の視点と配点】における「2 施設整備に関する項目」の点数が最も多い提案者を最優秀提案者として選定する。

(4) 参加者が1者の場合の取り扱い

参加者が1者のみの場合であっても審査を実施し、定性的評価点が60点以上の場合は、優先交渉権者として決定を行う。

第3 審査の結果

(1) 資格審査

市は、令和4年8月19日において提出された参加表明書及び参加資格確認申請書等の書類をもとに、参加者が満たすべき参加資格要件及び業務遂行能力について確認し、令和4年8月22日付で参加資格審査結果通知書を参加表明各グループの代表企業に通知した。

なお、参加資格審査結果の通知時に、公正な提案審査を実施するため提案書類に記載する整理記号として、受付順に「バラ」、「コスモス」との名称を各グループに付与した。

(2) 提案審査

1) 基礎審査

市は、各グループから提出された提案書類が、要求水準書等に記載する基礎審査項目を満たしていることを確認した。

2) 価格審査

市は、提案価格が上限価格を超えていないことを確認した。各グループの提案価格は次のとおりである。

	バラ	コスモス
提案価格 (消費税及び地方消費税を含まず)	4,672,546,000 円	4,672,540,000 円
うち、施設整備費	2,988,691,000 円	2,988,690,000 円
うち、維持管理運営費	1,683,855,000 円	1,683,850,000 円

3) 定性的審査

令和4年11月28日に提案者のプレゼンテーション及びヒアリングを開催し、第3回選定委員会において審査を実施し、定性的評価点が60点を満たしているかの確認及び最優秀提案者の選定を行った。

【審査項目、評価の視点と配点】

配点	審査項目		評価の視点		バラ	コスモス
1 事業実施に関する項目						
10 点	(1) 実施方針・ 実施体制	5 点	・ 実施方針	3 点	2.80	2.50
			・ 実施体制	2 点	1.80	1.73
	(2) リスク対応	1 点	・ リスク管理方針	1 点	0.87	0.90

	(3) 地域貢献	4 点	・ 地域との連携	1 点	0.87	0.87
			・ 地元企業の活用等	3 点	2.50	2.40
2 施設整備に関する項目						
50 点	(1) 基本・実施設計	30 点	・ 設計、建設及び火葬炉整備に関する基本的な考え方	2 点	1.87	1.67
			・ 施設整備体制	2 点	1.80	1.67
			・ 配置計画、動線計画	3 点	2.90	2.20
			・ 造成計画	2 点	1.67	1.40
			・ 仮設計画	1 点	0.93	0.83
			・ 施設整備計画	4 点	4.00	3.47
			・ デザイン、外構計画	10 点	10.00	8.00
			・ 維持管理運営への配慮	3 点	2.50	2.70
			・ ユニバーサルデザイン	3 点	2.60	2.30
	(2) 火葬炉設備計画	6 点	・ 火葬炉の性能	2 点	1.73	1.73
			・ 安全性、運転操作性	2 点	1.60	1.60
			・ 更新性	2 点	1.87	1.60
	(3) 建設工事	8 点	・ 施工計画	2 点	1.67	1.60
			・ 安全確保	2 点	1.73	1.67
			・ 確実な工程、工期短縮	2 点	1.53	1.53
			・ 周辺地域や斎場利用者への配慮	2 点	1.53	1.47
	(4) 解体設計・工事	2 点	・ 解体設計・工事、確実な工程	2 点	1.60	1.53
	(5) 環境への配慮	4 点	・ 施設整備、火葬炉設備における環境への配慮	4 点	3.33	3.33
3 維持管理に関する項目						
17 点	(1) 実施体制	3 点	・ 維持管理体制	3 点	2.60	2.50
	(2) 維持管理計画	14 点	・ 施設及び設備性能の維持	3 点	2.60	2.60
			・ 火葬炉故障時等の対応	2 点	1.67	1.60
			・ ライフサイクルコストの縮減	5 点	4.33	4.17
			・ 大規模修繕	2 点	1.87	1.73
			・ 引継ぎ	2 点	1.60	1.67
4 運営に関する項目						
17	(1) 実施体制	3 点	・ 運営体制	3 点	2.80	2.30

点	(2) 運営計画	14 点	・ 供用開始対応	2 点	1.53	1.60
			・ 火葬タイムスケジュール	2 点	1.80	1.67
			・ 事故及びトラブル防 止、大規模災害時の 対策	2 点	1.80	1.87
			・ 運営水準の維持及び向 上	5 点	4.33	4.33
			・ エネルギー等使用量の 削減	3 点	2.40	2.20
5 その他の独自の提案						
2 点	(1) その他の独 自の提案	2 点	・ その他の独自の優れた 提案等	2 点	1.73	1.67
6 コスト管理						
4 点	(1) 価格積算の 妥当性	4 点	・ 価格積算の妥当性	4 点	3.07	3.07
100 点	配点合計				87.83 点	81.68 点

(3) 最優秀提案者の選定結果

選定委員会は、選定基準に基づき定性的評価点を算出し、順位付けを行った結果、定性的評価点が最も高いバラグループを最優秀提案者として選定した。

提案整理記号	定性的評価点	提案価格 (消費税及び地方消費税を含まず)	順位
バラ	87.83 点	4,672,546,000 円	1
コスモス	81.68 点	4,672,540,000 円	2

第4 審査の講評

(1) 各審査項目の審査講評

審査項目		審査講評
1 事業実施に関する項目		
(1) 実施方針・実施体制		
実施方針	・両グループともに、本事業の目的や新斎場整備における基本的な考え方を踏まえた独自の事業コンセプトが具体的に示されており評価した。	
実施体制	・両グループともに、施設整備及び維持管理運営に対する実施体制等が示されており、それらを高く評価した。	
(2) リスク対応		
リスク管理方針	・両グループともに、経験豊富な企業による組織的な管理体制が構築され、また、万が一のリスクについて対応できる適切な体制を整備し、保険等による対応策についても具体的な提案が示された点を高く評価した。	
(3) 地域貢献		
地域との連携	・両グループともに、地元住民の活動に対する理解や支援内容が提案に示された。	
地元企業の活用等	・両グループともに、地元企業への発注計画並びに、地元雇用について具体的な提案が示された。	
2 施設整備に関する項目		
(1) 基本・実施設計		
設計、建設及び火葬炉整備に関する基本的な考え方	・両グループともに、募集要項に示す新斎場整備における基本的な考え方に合致した提案が示された。	
施設整備体制	・両グループともに、複数の火葬場実施設計経験者を起用するなど、施設整備体制を確実に遂行する提案が示された。	
配置計画、動線計画	・両グループともに、現地建替えとなる制約の多い敷地において、独自の工夫を凝らした提案が示された。 ・バラグループの、丘陵地形に沿った配置計画と内部動線の工夫により、利用者の安全とプライバシーの確保に配慮した計画を高く評価した。 ・コスモスグループは、周辺道路からの入退場による利用者の利便や安全に配慮し、コンパクトな建屋から敷地の有効利用を図ることで、大規模葬儀にも対応可能な提案が示され、それらを評価した。	
造成計画	・両グループともに、周辺地形等を踏まえ、残土排出を最小限に抑えるよう合理的かつ効果的な提案が示された。	

仮設計画	・両グループともに、既存斎場を運営をしながら建設するため、建設から既存斎場の解体まで、利用者の安全性を最優先した計画が具体的に示された。 ・バラグループの、駐車場を新斎場に隣接させ供用開始時に利用可能な点を高く評価した。 ・コスモスグループの、六地蔵及び供養塔、動物供養塔へは、着工段階で近隣道路からのアクセスの良い場所へ移設する提案を評価した。
施設整備計画	・両グループともに、独自の工夫を凝らした内部動線について、利用者の利便性に配慮した具体的かつ適切な提案が示された。 ・バラグループの、火葬における明快なゾーニングにより、職員の動線を最短にするほか、2会葬同時運用においても、会葬者のプライバシーの確保に配慮した点を特に高く評価した。 ・コスモスグループの、将来にわたる利用者数増減への対応や必要機能を満たす各諸室計画を高く評価した。
デザイン、外構計画	・両グループともに、斎場にふさわしい内装意匠と外観デザインが提案された。また、地域に馴染むランドスケープデザインでありながら、要求水準以上の駐車台数が示された。 ・バラグループは、一期、二期工事の区分が上手く考えられていた。また、アプローチ道路のとり方や調整池に関しても景観のながれを造ったデザインを特に高く評価した。 ・コスモスグループの、より多くの駐車場を確保する提案を高く評価した。
維持管理運営への配慮	・両グループともに、LCC削減の具体的な提案が示された。 ・バラグループの、維持管理運営が容易な計画と、自然エネルギーの活用や高効率設備の導入によるLCC削減計画を評価した。 ・コスモスグループの、費用対効果に優れた環境配慮手法の採用によるランニングコスト縮減について高く評価した。
ユニバーサルデザイン	・両グループともに、全ての施設利用者にとって利用しやすく安全かつ快適な施設及び設備計画が示された。 ・バラグループの、障がい者用駐車場への配慮を評価した。
(2) 火葬炉設備計画	
火葬炉の性能	・両グループともに、火葬炉に要求する性能を満たす提案と環境性能を満足する提案が具体的に示された。
安全性、運転操作性	・両グループともに、トラブル発生時は自動的に停止するなど、火葬を安全に継続できるシステムを備えていることが示された。
更新性	・両グループともに、メンテナンスや更新を考慮した配置計画とし、それぞれ具体的に示された点を評価した。 ・バラグループの、運営中における搬出入ルート確保等を考慮した配置計画を高く評価した。
(3) 建設工事	
施工計画	・両グループともに、工事に伴う騒音や振動の抑制に配慮した施工計画が示された。

安全確保	両グループともに、適所に交通誘導員の配置ならびに、機器や看板を活用することで斎場の利用者等の安全を確保するための対策が示され高く評価した。
確実な工程、工期短縮	- 両グループともに、生産性の向上や工程管理手法による提案が示された。 - バラグループは、全社工程管理体制全般での提案が示された点を評価した。 - コスモスグループは、ICT の活用など具体的な提案があり評価した。
周辺地域や斎場利用者への配慮	両グループともに、工事期間中における騒音、振動等について、周辺地域や既存斎場の利用者等への影響を低減するための対策が示された。
(4) 解体設計・工事	
解体設計・工事、確実な工程	両グループともに、解体に伴う関係法令を熟知し、周辺地域や新斎場の利用者等への影響を未然に防止する提案が示された。
(5) 環境への配慮	
施設整備、火葬炉設備における環境への配慮	- バラグループは、建設時からクリーンエネルギーの活用と再生可能エネルギー設備の導入をはじめ LCCO₂ の手法が示された点を評価した。 - コスモスグループの、カーボンニュートラルの実現に向けた BELS 5 つ星評価の施設づくりを評価した。
3 維持管理に関する項目	
(1) 実施体制	
維持管理体制	両グループともに、実績豊富な企業と多数の有資格者によるバックアップ体制が築かれている点を高く評価した。
(2) 維持管理計画	
施設及び設備性能の維持	- 両グループともに、施設及び火葬炉の具体的な点検、維持管理体制が示され評価した。 - また、火葬炉の排気ガス成分のモニタリングについても具体的に示された点を評価した。
火葬炉故障時等の対応	- 両グループともに、システム管理され迅速なトラブル対応を行うことで2重3重の安全対策が確認できた。 - また、不具合や故障時には、グループ内の応援体制が具体的に示された。
ライフサイクルコストの縮減	両グループともに、建築設備及び火葬炉設備の日々の点検による予防保全と、蓄積されたメンテナンスデータを基に、独自の手法による具体的な提案を評価した。
大規模修繕	両グループともに、事業期間は大規模修繕を発生させない、更に、事業終了後も施設機能を低下させない提案が示された。
引継ぎ	- 両グループともに、事業終了前から計画的な提案が示された。 - コスモスグループの、余裕をもったスケジュールと効果的かつ実行性のある計画を特に評価した。
4 運営に関する項目	
(1) 実施体制	

	運営体制	・両グループともに、経験のある責任者の配置や、将来の火葬ピークに対応した人員配置など具体的に示された。
(2) 運営計画		
	供用開始対応	・両グループともに、供用開始当初から適切な運営サービスレベルが確保できる稼働準備計画が示され評価した。
	火葬タイムスケジュール	・両グループともに、要求水準を上回る火葬タイムスケジュールが示され、火葬件数の増減に関しても柔軟に対応可能な点を特に評価した。
	事故及びトラブル防止、大規模災害時の対策	・両グループともに、事故及びトラブル防止対策について具体的に示された。また、大規模災害時の施設機能を維持する必要性を踏まえ、非常用発電機の燃料を必要量備蓄する提案が示された。 また、火葬燃料の都市ガス遮断時にも、火葬運転を継続できる体制を評価した。
	運営水準の維持及び向上	・両グループともに、利用者の心情やプライバシーの確保に十分配慮した運営方法が提案された。 また、モニタリングの実施について、積極的な計画が示され、施設利用者の意見や要望を把握する方策が具体的に示され評価した。
	エネルギー等使用量の削減	・バラグループは、火葬件数が減少した場合大幅なエネルギー等使用量の削減が可能な提案が示され評価した。 ・コスモスグループの、エネルギー管理士による PDCA サイクル活用により、継続的なエネルギー使用量削減の取組体制を評価した。
5 その他の独自の提案		
(1) その他の独自の提案		
	その他の独自の優れた提案等	・両グループともに、複数の独自の提案が示された。特にバラグループの提案を評価した。
6 コスト管理		
(1) 価格積算の妥当性		
	価格積算の妥当性	・両グループともに、施設整備費、維持管理費及び運営費は予算額の範囲内で、かつ内訳が適切と評価した。

(2) 総評

今回、複数の企業から関心が寄せられた中で、最終的に2グループから参加表明及び提案があった。いずれのグループ提案もこれまでの各事業者の実績を基にした独自のノウハウや技術が盛り込まれており、市の要求水準を上回る提案内容が示されていた。選定委員会として、提案書作成における努力に対して深く感謝申し上げたい。

選定委員会では、事業者選定基準に則り、各審査項目について厳正かつ公正に審査を行った結果、バラグループを最優秀提案者として選定した。

今後、バラグループは市と施設整備の契約を、また、組合と維持管理運営の契約を締結するための協議を行うこととなるが、市の要求事項のみならず、調整池の修景機能と本来の洪水調整機能とをいかに調整させていくかに配慮するなど提案やヒアリングで示

した内容を確実に履行し、本施設が末永く利用される施設となるよう、市及び組合と真摯に協議を進めていただきたい。

最後に、長期にわたる事業期間を通じて岸和田市及び貝塚市並びに岸和田市貝塚市清掃施設組合とバラグループが良きパートナーとなり、地域との信頼関係を築きながら、本事業を計画的かつ適切に推進するとともに、質の高い公共サービスを提供するよう期待する。

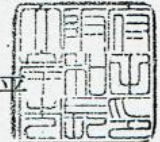


岸市市第 73 号
令和 4 年 5 月 9 日

諮 問 書

岸和田市貝塚市斎場整備運営事業者
選定委員会委員長 様

岸和田市長 永野 耕平



岸和田市貝塚市斎場整備運営事業者の選定について（諮問）

本市では老朽化した斎場の建て替えを貝塚市と共同で行うことを目指し、令和 2 年 11 月に「岸和田市・貝塚市新斎場整備基本計画」を策定しました。本計画を実行に移すため、新斎場の整備及び運営について、DBO方式を採用し事業者選定を行うこととしましたが、事業を効率的かつ効果的に推進できる最適な事業者を選定するためには、専門的な知見が必要不可欠となります。

そこで、整備及び運営事業者の選定について、各々の専門分野からの高度な視点でご審議いただきたく、下記の事項について諮問いたします。

記

1. 岸和田市貝塚市斎場の整備及び運営に係る事業を委託する事業者の選定基準の策定に関する事
2. 当該事業者の選定に関する事